

2016-2017年度RI会長 ジョン F ジャーム  
2016-2017年度第2770地区ガバナー 浅水 尚伸  
2016-2017年度大宮ロータリークラブ会長 橋本 和久

「人類に奉仕するロータリー」  
「楽しいロータリークラブを作り上げよう」  
「奉仕と親睦、新たな一歩を踏み出そう」



親愛なる大宮ロータリークラブの皆さん、本日もお暑い中、例会ご出席まことにありがとうございます。  
「平凡パンチ」みなさんこの響きわくわくしませんか？今は休刊になっていて残念ですが、私も中学生の頃ドキドキしながら、しかも勇気を振り絞って買った記憶が鮮明に思い出されます。  
「ポパイ」流行に敏感な青年時代、私もポパイ少年に憧れバイブルとして読ませて頂きました。  
「ハナコ」女の子はなにを考え何が好きなのかを研究する為に読ませて頂きました。  
思えば雑誌にはその時代時代のトレンド、流行を教えてもらったものです。本日は株式会社マガジンハウス代表取締役社長 石崎孟 様をお迎えしました。出版業界はインターネット時代に大変ご苦労されていると思いますが、その中でも勢いのある出版社さんです。いつの時代もファッションや生き方、まさに文化を担い続けておられます。石崎社長とは出身大学の先輩としてお会いしますが、いつもかっこいいなあ・・・と憧れています。そのかっこよさの秘訣も教えて頂ければ幸いです。 会長 橋本 和久

## 終戦の日本に夢と娯楽を

## 「文化の担い手であり続けること」



マガジンハウスは、終戦直後の昭和20年(1945年)10月10日、まさに一面焦土と化した東京・築地の一隅でその産声をあげました。2ヶ月前に終戦を迎えたばかりのその日、創業者・岩堀喜之助は戦争で生きる力を失くし、目標さえ失くしていた若者たちに、夢を、娯楽を、との思いを込めて、あの焼野原の中、出版社をスタートさせたのです。時に、岩堀35歳の秋でした。

3歳年下の盟友、清水達夫とともに創刊した『平凡』は瞬間に100万部雑誌に成長しました。戦後の、何もなかった貧しいだけの時代に、娯楽を家庭に若者たちにと届けたのです。美空ひばり、石原裕次郎、中村錦之助・・・煌めくスターといっしょになってマガジンハウス(創立当時の社名は凡人社、その後平凡出版)は、大きく成長していきました。

それからの弊社は、今日に至るまで、日本の雑誌界をリードし続け、時代を動かし続けています。

皇太子殿下(今上天皇)と美智子様様の御成婚をきっかけに、テレビの家庭への普及が飛躍的に伸びた昭和34年、日本で初の芸能週刊誌『週刊平凡』を創刊しました。これもまた、あっという間に100万部雑誌へと成長していきました。それから5年後、東京オリンピックが開催された昭和39年5月には、日本初の若い男性向け週刊誌『平凡パンチ』を創刊。東京が、いや日本が音を立てて変貌を遂げている時でした。政治、ヌード、ファッション、車、お酒、麻雀、海外からの情報、・・・若者たちのあらゆる動向を捕らえ、時代のカルチャーを牽引しました。そしてこの雑誌もまた、極めて短い期間に100万部に到達したのです。大阪万博が開催された昭和45年には、今も、若い女性の生き方をリードし続けている『アンアン』を創刊。それはまさに衝撃のデビューでした。『アンアン』というそれまでに例を見ないタイトル、今ではごく普通になったあの大判サイズ、内容、革新的なデザイン・・・すべてが衝撃的でした。そして、圧倒的な驚きを持って若い女性たちの支持を獲得したのです。その後も『クロワッサン』、『ポパイ』、『ブルータス』、『カーサブルータス』、『ターザン』、『ハナコ』、『クウネル』、『&プレミアム』と創刊を続け、いずれの雑誌もが時代のキーマガジンとなり、その世代のオピニオンリーダーとなっています。また時代の変換期を語る時も、弊社の雑誌は絶対に欠かすことのできない存在となっています。さらに昭和63年には、それまでの雑誌一筋の出版社から、単行本の世界にも進出し、『世界がもし100人の村だったら』はミリオンセラーとなり、『肩ごしの恋人』(唯川 恵著)では直木賞を受賞しました。現在では、総合出版社としての名を不動のものにしています。

マガジンハウスの雑誌・書籍は、創業以来、21世紀の今日まで、日本を動かし続けてきました。若者たちの折々の行動に、大きな影響を与え続けて来たのです。

これからも、日本の文化をリードし、読者の皆さんのライフスタイルの参考書になるような出版物をお届けします。またさらに、今後はデジタルの分野はもちろん、メディアミックス、キャラクター関連など、これまでの70年で培ってきた編集力と、コンテンツを活かした新しい出版ビジネスに挑戦してゆきます。そして全役員、全社員が、熱い気持ちで「文化の担い手であり続けること」をお約束します。

## マガジンハウス 代表取締役社長 石崎 孟 様



- 創立: 昭和30年12月2日 ● 例会日: 毎週水曜日 12:30~13:30 ● 会場: パレスホテル大宮
- 事務局: 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町1-95岩井ビル2-2階 ● TEL: 048-645-0130 ● FAX: 048-647-1714
- E-mail: o-rotary@bz01.plala.or.jp ● HP: http://www.orotary.hs.plala.or.jp/

# 本日のお客様



地区青少年交換委員会  
鈴木伸雄様

上尾RC 樋口雅之幹事

8月7日から1年間  
ドイツに行って来ま  
す。成長して帰って  
きます！

青少年交換学生  
大谷亮介君



川島会員より  
青少年交換  
の知識を学び  
ました。

## 入会式

中川G補佐より  
バッジをつけてい  
ただきました。



大宮アルディージャ 森正志 会員

## 15年在会記念

江本 尚浩 会員



次回例会案内 第3010例会 2016 7月27日  
クラブ総会・協議会 100%出席表彰

7月19日に  
ローターアクト  
例会があります。  
詳しくは  
私まで。

当日	例会	会員数	出席率
7月13日	第3008例会	65名(64名)	40名 62.5%
前々回	例会	メークアップ	修正出席率
6月29日	第3006例会	6名	84.62%



スマイル 祝原会員 出席率 傅煥翔さん



司会 洪木会員

上尾より参りました。本日はよろしくお願ひ致します。

上尾RC幹事樋口雅之

会長が終わってホットしています。これからも宜しくお願いします。

地区青少年交換委員会 春日部イブニングRC鈴木伸雄

田村さん25年江本さん15年、在会おめでとうございます。 浅野仁 齋藤守毅 永嶋良一

橋本和久 星野晃一郎

お客様ようこそ。遠藤省吾 兼杉涼二 櫻井義久 鈴木俊一 関口茂 田中康之 星野晃一郎

森正志会員大宮RC入会おめでとうございます。 飯野耕司 岩崎彰 遠藤省吾 小川武士

岸聡 小坂良二 小林憲樹 齋藤守毅 進藤博司 戸井田修 善行地潔

中川高志 永嶋良一 橋本和久 星野晃一郎 三浦守

マガジンハウス石崎社長。卓話ありがとうございました。 飯野耕司 石井宣子 祝原英雄

岩瀬雄一 岩田尚明 川島利雄 進藤博司 竹内裕司

徳山義行 中川高志 橋本和久 星野晃一郎

久しぶりの司会進行役をさせていただきました。

久木理俊

洪木さん司会ありがとうございました。

栗岡浩治 橋本和久 星野晃一郎

大谷君ドイツライフ大いに楽しんで来てください。

中川高志

鈴木伸雄様、樋口雅之様いつも青少年交換でお世話になります。

川島利雄

傅煥翔さん受付、出席率報告いつもありがとうございます。

福島謙二

どうも人物を撮るのが苦手です。

清水啓生

岩瀬さん大変お世話になります。

大竹敦

7月はロータリー三昧。担当委員長さんもお疲れ様です。

橋本和久

本日の合計金額 62,000円

本日までの累計金額 197,000円

ご協力ありがとうございました。

